

環境省の施策・支援について

令和4年度版

環境省

自然環境局 国立公園利用推進室、自然環境計画課

1. 国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業
2. 子どもパークレンジャー事業
3. 里山未来拠点形成支援事業

1. 国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業
2. 子どもパークレンジャー事業
3. 里山未来拠点形成支援事業

<国立公園とは>

日本を代表する自然の風景地を指定しています。

国（環境省）が指定し、自治体や地域の関係者と共に管理しています。

全国で34カ所が指定されており、総面積は国土の約5.8%を占めています。



<日本の国立公園の特色>

日本の国立公園では、自然の風景や動植物だけでなく、その自然に育まれた農林漁業や伝統文化、食など、その地域ならではの人の暮らしに触れられるのが特徴です。

国立公園内の自然体験を通して人と自然のつながりを学ぶことは、子どもたちの生きる力や豊かな人間性の形成に寄与します。このような取り組みを支援するため、環境省では様々な施策を行っています。



国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業 (地方環境事務所による取組)

令和5年度概算要求額
5百万円(5百万円)

○ 国立公園を中心とした、子ども滞在型農山漁村体験教育の推進体制及び受入体制の強化を図るために、国立公園エリアにある受入側となる農山漁村地域における推進体制づくりを支援します。

○ 受入地域の協議会や住民、民間事業者と協力した人材育成、自然体験プログラムの開発・強化・充実への取り組みを支援します。



期待される効果

- 自然環境や国立公園への理解や訪問意識の高まり、利用者の増加
- 子ども自然体験活動の受入に伴う交流人口の増加、地域活性化
- 子どもの生きる力、豊かな人間性の形成

子どもパークレンジャー事業(自然公園等利用ふれあい推進事業) (地方環境事務所による取組)



令和5年度概算要求額
9百万円の内数(9百万円の内数)

○小中学生を対象に、国立公園を中心に山や里、川、海などのフィールドにおいて、国立公園で働く自然保護官(パークレンジャー)の体験や、野外活動等を通じた、自然のすばらしさを体感する自然ふれあいプログラムを実施しています。

○子どもたちが、国立公園などの自然豊かな農山漁村に滞在することを通じて、心の豊かさや、生きる力を育むための自然体験・教育プログラムの実施を行っています。



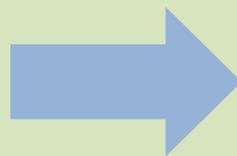
イベント情報などの詳細はこちら！

環境省 自然大好きクラブホームページ内「子どもパークレンジャー」
<http://www.env.go.jp/kids/gokan/jpr/index.html>

- 自然や暮らし、文化を生かした質の高い体験の提供や、**滞在を延ばし消費単価や満足度向上**につながるよう、**国立公園ならではの自然体験コンテンツを充実**

国立公園コンテンツ集 2021-2022

- 383コンテンツ（27公園）
- モデルコース78



国立公園の利用者向けサイト 「国立公園に、行ってみよう！」

- 国立公園内で楽しめる自然体験コンテンツを紹介



○ご相談の際には○

お近くの国立公園の自然保護官事務所や地方環境事務所まで！

<全国の自然保護官事務所や地方環境事務所は、こちらを検索！>

<http://www.env.go.jp/park/office.html>

<ご相談内容例>

- 国立公園とは？ どんな体験プログラムがある？ 体験イベントは？ 何ができる？
- 体験プログラムづくり、モニターツアー等の取り組み支援の相談
- 体制づくり、ガイド・コーディネーターの育成支援の相談 等々

○自然体験活動をするなら○

環境省で、自然体験活動の拠点施設情報などをとりまとめています。
是非ご活用ください！

<NATS自然大好きクラブHP>

<http://www.env.go.jp/nature/nats/>

本資料に関するお問合せ、ご相談先：

環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室 塩野目、江澤

TEL：03-5521-8271（直通）

1. 国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業
2. 子どもパークレンジャー事業
3. 里山未来拠点形成支援事業



里地里山での持続可能な活動の支援・普及を通じて、自立分散型・循環型社会の拠点づくりを推進

1. 事業目的

- ① 重要里地里山等における社会経済的課題と環境的課題を統合的に解決しようとする活動を支援
- ② 里地里山を新しい視点で活用する多様な主体の連携促進

2. 事業内容

「生物多様性国家戦略2012-2020」（平成24年9月閣議決定）では、里地里山の管理不足が生物多様性上問題であり、保全活動の取組への支援や都市住民、事業者なども含めた地域全体で支える新たな仕組みづくりが必要とされている。こうした状況を踏まえ、人々の暮らし方の変化も踏まえた、里地里山における生物多様性に配慮した持続可能な活動を支援・普及する。

※里地里山の保全・活用に関する先進的・効果的な活動であって、自然体験・教育、資源活用、雇用創出等



里山×教育・体験

森のようちえん、子どもキャンプ、自然学校、自然体験イベント、人材育成



里山×観光物産

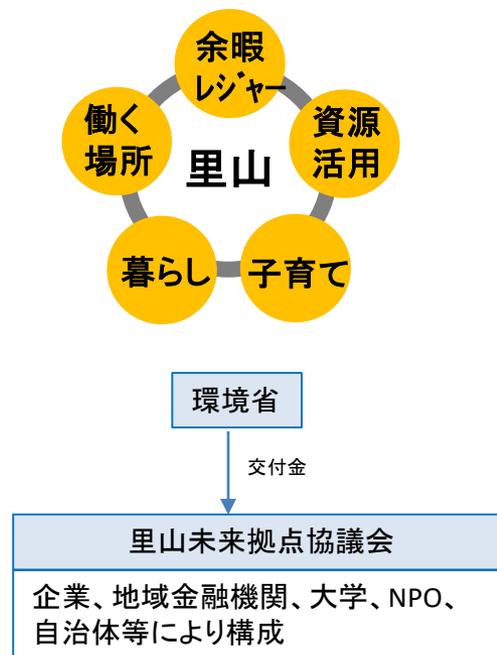
狩猟ツアー、暮らし体験、トレイル・フットパス、生き物ブランド、ジビエ、竹製品、自然共生型フェス

3. 事業スキーム

- 事業形態 交付金（交付率は3/4）
- 交付対象 民間事業者等
- 実施期間 令和3年度～

4. 事業イメージ

■ 里山でやるべきこと = 里山を生活の中に取り戻していくこと



【事業名】玉之浦地区の生物多様性維持につなげるインタープリター育成
(長崎県五島市) 【団体名】玉之浦町未来拠点協議会

令和3年度 生物多様性
保全推進支援事業
実績報告書別紙10-6

事業の背景・目的

玉之浦町は高木層でスダジイ、タブノキ等、亜高木・低木層でヤブツバキ等、草本層でウンゼンカンアオイ等の南方系自然林が残存する。しかし住民の自然への関心は高くなく、さらに年々増加するシカが町の森林を荒廃させている。そこで地域住民に対して、西海国立公園内の自然を地域の財産と感じてもらい保全するインタープリターを育成する。更に海外への活動紹介をするため、インバウンド受け入れ態勢を強化する目的で、伝統文化の説明などの英訳を進める。



事業の内容

自然林を含む森を保全する目的で3つの事業を実施する。エコツアーを地元住民とともに立ち上げる（エコツアー事業）。保全のため捕獲した獲物の革クラフト等体験プログラムなど新たなビジネス（自然利活用事業）や教材の提案（自然教育開発事業）を進めていく。

事業① エコツアー事業

- ・エコツアーの技術を上げるために専門家の指導の下でより高度な実地研修を行った。
- ・月刊誌のフリーライターやカメラマン、ウェブ雑誌の企画者を呼んで、「広告の出し方講座」を実施した。
- ・「五島のエコツアーガイド教則本」を作成した。



事業② 自然利活用事業

- ・レザークラフト職人から基本的な技術について指導を受け製品の品質向上を図った。
- ・レザークラフトワークショップの中で利用することを目標にクラフトキットを開発した。

事業③ 自然教育開発事業

- ・地元の小中学校の先生に協力してもらい、地域の花や貝殻などを使った物産品製作プログラムを立ち上げた。

得られた成果

- ・インタープリテーションを理解した民泊経営者と遊漁船経営者の2名が新たな有償エコツアーガイドとして活動を始めた。
- ・PerfectBoat3月号、日航会員誌AGORA5月号(予定)に当地の活動が紹介。
- ・「五島のエコツアーガイド教則本」は100部作成し、拠点である「鶴田商店」で配布した。小学生から大人までが熟読している様子が見られた。読者から、増版を求められているので、改訂版を作る。
- ・鹿革の製品については、昨年度までが31万円程度の売上だったが、今年度は倍増し、77万円を超えた。
- ・クラウドファンディングなどを使って物理的な拠点として「鶴田商店」を住民たちと立ち上げたことで、今後実施するエコツアーの受付窓口や製品の販売、イベントの実施ができる体制ができた。
- ・次年度は長崎新幹線の開通や五島舞台の連続テレビ小説が始まるなど恵まれた状況にあるので、この時期にインバウンド受け入れ態勢強化を進める。具体的には魚や花など「フェノロジー暦」の和英版作成。地元祭りや神楽の英語版作成とネイティブガイドの導入を進める。



※協議会会長の野澤氏は2019年4月から3年間、五島市地域おこし協力隊として活躍。
2022年4月から地域プロジェクトマネージャーに就任。

(参考) R3年度の実施地区

| | 事業名 | 事業者 | 場所 | 実施内容(1年目) |
|---|--|-------------------------|---------|--|
| 1 | 前日光県立自然公園井戸湿原生態系維持回復事業 (里山未来拠点型) | 横根高原保全・活用協議会 | 栃木県鹿沼市 | ア 井戸湿原生態系の維持回復事業 イ 野生鳥獣被害の低減事業 ウ 普及啓発事業 |
| 2 | グリーンインフラを活用した森里川海干潟でつながる 多良岳⇒有明海のワイズユース | 肥前鹿島里山未来拠点協議会 | 佐賀県鹿島市 | ア みかん荒廃園を活用した放牧牛の実証実験地のモニタリング調査事業 イ 海の森事業の効果検証事業 ウ 自然環境資源を活かした地域振興の取組の拡大事業 |
| 3 | 三井樂ふるさと景観の椿林・円畑・スケアン再生で地 産品ブランド化 | 五島里海里山協議会 | 長崎県五島市 | ア 円畑の保全 イ 椿林の手入れ ウ スケアンの手入れ復活 エ 豊かな里地里海の地域資源を再生し、特産品化(カンコロ餅、椿油) |
| 4 | 玉之浦地区の生物多様性維持につなげるインタープ リター育成 | 玉之浦町未来拠点協議会 | 長崎県五島市 | ア エコツアー事業 イ 自然利活用事業(皮なめし技術の習得等) ウ 自然教育開発事業(教材・教育プログラム) |
| 5 | きさらづ里山里海プロジェクト | きさらづ里山里海未来拠点形成 推進協議会 | 千葉県木更津市 | ア 里山里海の体験拠点の環境保全・整備事業(森林の整備、外来生物等の駆除等) イ 里山、里海体験による観光・教育プログラム創出事業 ウ 専門家招聘、監修による人材育成事業 エ その他目的達成に必要な事業(ミミズコンポストの製作等) |
| 6 | 京都市北部山間地域チマキザサ再生事業 | チマキザサ再生委員会 | 京都府京都市 | ア チマキザサ再生環境整備事業(防鹿柵の設置) イ 担い手確保及び技術継承支援事業 ウ チマキザサ流通促進事業 エ 普及啓発事業 |
| 7 | コウノトリ舞う豊岡の豊かな里地里山を次世代に遺す 「自然の中での育ち」 | 豊岡里地里山・人・未来協議会 | 兵庫県豊岡市 | ア 自然保育事業(「森のようちえん」開設準備、体験クラス等) イ 野外プログラム化事業 |

お問い合わせ先：環境省 自然環境局 自然環境計画課 湯浅
TEL:03-5521-8343 (直通)